

演目 ~あらすじ~

附子 ふす

❖ 主人が太郎冠者と次郎冠者に、留守番を言いつけ、桶の中に附子という猛毒が入っているのを決して近づかないように、と言い残し出かける。附子が気になって仕方がない二人は、こわごわ様子を探ると、中身の正体は実は砂糖！二人は夢中になって全部食べてしまう。言い訳の方法を考えた二人は…。

とんち話でも有名な、狂言の代表的なお話です。茶目っ気たっぷりの、太郎冠者と次郎冠者の活躍をお楽しみください。



茸 いんぎら

❖ 屋敷中に茸が生えて困っているという男に、茸退治を頼まれた山伏。もったいをつけつつ男の家に行くが、人ほどもある大きな茸にびっくり仰天！さっそく祈祷を始めるのだが、祈れば祈るほど茸は減るどころかますます増え、山伏や男にいたずらをするものまで現れる。山伏は最後の気力を振り絞って祈るのだが…

笠をかぶり面をつけたカラフルな茸たちが、舞台上を所狭しと動き回ります。海外でも上演されることの多い、荒唐無稽な狂言の代表作です。



恵の実

恵の実後援会は、社会福祉法人恵の実の事業を支えることにより地域の福祉に貢献することを目的に、本文化事業を開催しています。

1992年に、三組の親子の共同保育グループから始まった恵の実保育園は、障害のある子も含め、0歳から学童、大人までみんなで育ちあう子育てを実践。2006年に特定非営利活動法人認証、2010年には社会福祉法人として認可を受け、現在三つの事業を柱に、地域の福祉に貢献しています。

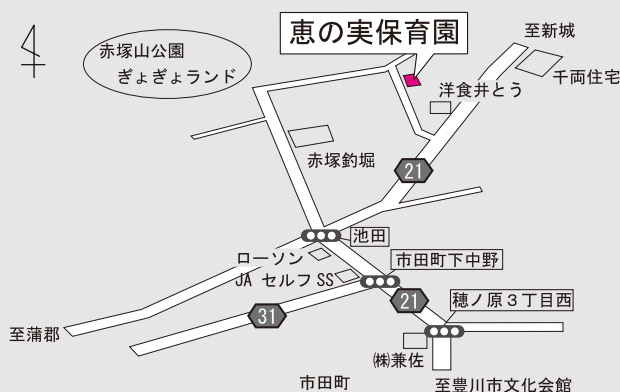
今後も、乳幼児期、学童期、青年期の発達支援、及び、心豊かな「生きる場」の創造をめざし、地域福祉の向上に一層尽力していきます。

社会福祉法人恵の実の事業

- ・ 恵の実保育園
- ・ 障害児通所支援事業
 - 恵の実「ホップくん」
 - 恵の実「ステップくん」
 - 「ポランの広場」
- ・ 公益事業「恵の実っ子クラブ」

恵の実後援会への行き方

〒442-0862 豊川市市田町原山 97・98 番地
TEL: 0533-65-9801



豊川市文化会館への行き方

豊川市代田町 1 丁目 20 番地の 4
TEL: 0533-84-8411 FAX: 0533-84-8412

